

2020  
7・20

月4回  
月曜日発行

第1158号

# 週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所  
〒104-0061  
東京都中央区銀座7-17-12 2F  
TEL 03 (3543) 7421  
FAX 03 (3543) 5839  
発行人 垂澤清三  
年間購読料 30,000円(税込)  
KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS  
亀岡大郎取材班グループ

## ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所  
代表取締役 出村 亜希子  
奈良女子大学大学院修了後CM  
会社を経て現職。一級建築士、  
宅建士。「倉庫ドクター」とし  
て建築面からオーナー支援に取り  
組む。

ブロック行われました。光の色を透過しに意味を持たせ、その光がゆ色で照らす。光はメツラぎ、きセージとしての役割もラめくよ持ち、励ましにも、応援にもなる。文字通り、光とい希望の灯です。

うと、現光には、癒やしの力  
在、新型があります。ただ、光  
コロナウは恵みだけではありません  
イルスのせん。2016年に、  
感染拡大隅田川のほとりに佇む  
に対し、老舗倉庫のなかのアー  
治療に尽トギャラリー「テンポ  
力する医ラリーコンテンポラリ  
ー」にて行われた光の  
巡回展『Nights  
cape 2050-  
未来の街・光・人』  
の展示を思い出しまし  
た。「2050年、私  
たちはどのような光に  
遭遇しているか」とい  
うテーマで、光の「英  
雄の側面」と「犯罪者  
の側面」が紹介されて  
いたのですが、都市化  
が進んだエリアでは、  
夜間でも昼間のように  
明るくなり、光害とし  
て、人にとっても生態  
系やエネルギー浪費の  
面でもさまざまな影響  
が出ていていることが取り  
上げられていました。

### 第27回「光の癒やし」

光の祭典「神戸  
ルミナリエ」は、阪神  
淡路大震災犠牲者への  
鎮魂と都市の復興・再  
生への夢と希望を託し  
て行われ、また、東日  
本大震災のときにも全  
国各地で光を通した追  
悼と応援のイベントが  
振り返ると、  
まざままですが、つま  
活用できれば、倉庫リ  
ノベーションにおいて  
も大きな効果をもたら  
すことができます。い  
ずれは、光のリノベ  
ションともいえるべき概  
念が生まれるかもしれ  
ません。

2001年に完成したこの建物は、イタリア出身の世界的建築家レンゾ・ピアノの代表作のひとつ。いつ見ても魅力的で美しい建物ですが、もっとも輝きを放つのは夜です。内部の明かりがガラスブロックを通してランタンのように街を優しく照らし、暖かみのあるオレンジ色に包まれた姿が浮かび上がります。建物を見ながら歩いてくと、波打ったガラス

銀座は数寄屋橋交差点を通りかかると、全  
面ガラスブロックに覆  
われた「メゾン・エル  
メス」の建物が目に飛  
び込んできます。隣の  
「ソニービル」  
が建て替えのため  
れ、空間が開か  
ただ、交差点か  
見えるようにな  
っています。

銀座は数寄屋橋交  
療関係者等に感謝と応  
援の気持ちを示す取り  
組みとして、まちのシ  
ンボルを青色にライト  
アップする「ブルーラ  
イトアップ」が国内外  
で拡がりを見せ  
ています。この  
活動はロンドン  
から始まり、世  
界に拡がしまし  
た。日本におい  
ても東京タワー  
や東京スカイツ  
リーを始め、同  
様の取り組みが  
各地で実施され  
ています。当社  
のオフィスがあ  
る芝浦の倉庫街  
においても、運  
河にかかる橋が  
青色にライトア  
ップされていま  
した。